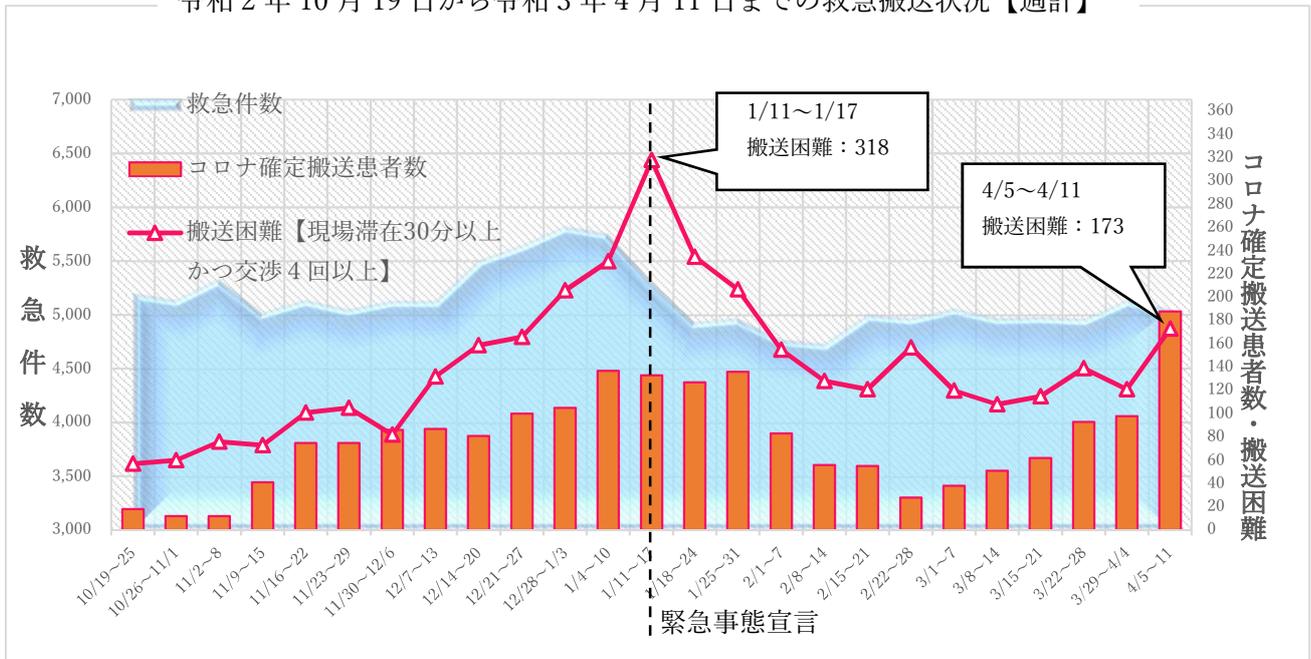


救急搬送状況について

1 搬送状況

- ① 搬送困難件数（現場滞在 30 分以上かつ交渉 4 回以上）は、冬期に多く発生する疾病（心筋梗塞等）等もあり 1/11～17 において 318 件で最大。
- ② 4 月以降は増加傾向となっているが、現時点では 1 月時点の約 5 割の水準。今後の状況には注視が必要。

令和 2 年 10 月 19 日から令和 3 年 4 月 11 日までの救急搬送状況【週計】



2 搬送患者の受入促進に向けた取組

① 広域災害救急医療情報システム（EMIS）の活用

休日・夜間等で搬送先の確保が困難な場合等に、県の整備している兵庫県 EMIS の一斉通報のシステムを活用し、全県的な搬送先の確保に努めている。なお、昨年 4 月から新型コロナウイルス感染症の急患患者の受入れ困難事例の増加を受けて、従来設けていた一斉通報の要件（5 回以上照会等）を撤廃している。

② 新型コロナウイルス感染症疑い患者受入登録医療機関等における積極的な受入促進

「新型コロナウイルス感染症を疑う患者受入れのための救急・小児・医療提供体制確保事業」（令和 2 年度）を活用して院内感染を防止するために必要な設備整備及び診療体制確保を行った病院数

神戸	阪神	東播磨	北播磨	播磨姫路	但馬	丹波	淡路	合計
24	30	6	12	11	3	4	4	94

- ③ 新型コロナウイルス感染症の疑似症患者の入院治療を行う医療機関への支援
入院 1 人あたり 12,000 円/日【4/29～5/5：24,000 円/日】